

令和2年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る  
研究推進実施計画書

尾道市立高西中学校 校長 濱本 かよみ

1 学校経営構想 (別紙)

学校経営目標

地域に信頼され、地域に誇れる学校をつくる  
(1)教職員の総力を挙げた組織的・機能的な体制のもとに実践する。  
(2)計画的・系統的な指導を行い、「知・徳・体」のバランスのとれた育成を図り、保護者・地域との連携・協働した学校をつくる。  
(3)昨年度、重点的に取り組んだ生徒の生徒主体の授業のさらなる充実と、自己指導能力の育成に向けた取組を、積極的・意図的に導入する。

スクールミッション

自治的風土のもと、生徒の主体性が育まれる教育の実現

目指す児童生徒像

- ・学習したことを活用できる生徒（知識・技能）
- ・多様な学びをもとに自分の考えを表現できる生徒（思考力・判断力・表現力）
- ・自他を認め、仲間と共に学び続ける生徒（主体性・協働性）

2 教育研究構想 (別紙)

3 研究の概要

(1) 研究主題・副題

生徒の自治的風土の醸成による学校力の向上  
～生徒の主体的参画による魅力ある地域づくりを通して～

(2) 研究主題の設定理由

社会背景から、変化の激しい社会を生き抜くための資質・能力を育てることが求められている。また、人間関係形成・社会形成能力の低下も社会的な問題になっている。本校の生徒実態からも、生徒の主体性や自己肯定感の低さが課題である。生徒指導面においても、暴力行為やいじめ、不登校問題が課題となっている。そこで、話し合い活動を基盤にして、生徒の主体性を育み、自治的風土を培うことで自己肯定感の涵養や互いに信頼し合える集団をつくりたい。そのことを通して学校力の向上を目指したい。

(3) 研究のねらい

生徒の主体的参画による生徒の自治的風土の醸成

(4) 研究仮説

教科・領域で身に付けた資質・能力を活用し、特別活動を中心とした話し合い活動を仕組みば、学びに向かう主体的な態度の涵養と人間関係形成・社会形成能力が育成するだろう。

(5) 研究内容（研究の方向）

- ① 学級活動を核とした自治的活動への取組
- ② 主体性、自己肯定感と学力の相関性
- ③ 郷土愛の涵養

(6) 検証の指標

- ① - 生徒アンケートで「よりよい人間関係や学校生活を築いていこうとする自治的能力が育っていると思う」に肯定的に答える生徒の割合
- ② - 生徒アンケートで「今の自分が好きだ」「話し合い活動に関する項目」に肯定的に答える生徒の割合
  - 1月実施の標準学力調査の平均通過率
- ③ - 生徒アンケートで「自分の住んでいる地域が好きだ」に肯定的に答える生徒の割合

(7) 到達目標

- ① - 80%以上
- ② - 80%以上
  - 全国平均 + 3%
- ③ - 90%以上

4 指導・助言者

氏名	所属・職名等	備考
杉田 洋	國學院大學・教授	
東部・尾道市 指導主事	東部・尾道市教育委員会	

## 5 研究計画

月 日	研 究 内 容	講 師
4月3日	校内研修（研究の概要について）	
4月24日	校内研修（特別活動の授業づくり）	
4月27日	校内研修（主体的・対話的で深い学びの授業づくりに向けて）	
5月15日	校内授業研究会・研究協議	教授 杉田 洋 （國學院大學） 尾道市教育委員会 指導主事
6月5日	授業公開指導案検討	
6月26日	校内授業研究会・研究協議	教授 杉田 洋 （國學院大學） 尾道市教育委員会 指導主事
7月下旬	校内研修（1学期の振り返り）	
8月中旬	校内研修（授業公開について） 校内研修（指導案検討） 校内研修（2学期に向けて）	
9月下旬	授業公開指導案検討	
10月16日	校内授業研究会・研究協議	教授 杉田 洋 （國學院大學） 尾道市教育委員会 指導主事
10月下旬	校内研修（授業公開に向けて）	
10月31日	道徳授業公開・地域貢献活動	
11月24日	公開授業研究会・研究協議	教授 杉田 洋 （國學院大學） 尾道市教育委員会 指導主事
12月下旬	校内研修（2学期の振り返り）	
1月	本年度の研究のまとめ 校内授業研究会（2年目研修） （英語・国語）	

2 月	校内授業研究会（3 年目研修） （社会） 来年度の計画	
-----	-----------------------------------	--